

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：27項目

問題あり：3件

要確認：4件

問題なし：20件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

人名・本名

記載内容：「高木かおり（本名：高木佳保里）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト確認。本名は「高木 佳保里（たかぎ かおり）」

出身地

記載内容：「大阪府堺市出身」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipediaで確認

学歴

記載内容：「三菱信託銀行勤務」

検証結果：✓正確（現在は三菱UFJ信託銀行）

根拠・出典：参議院公式サイトで確認

政党名

記載内容：「日本維新の会」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト、日本維新の会公式サイトで確認

役職名

記載内容：「2024年12月には参議院国会对策委員長に就任」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaで「2024年12月、党国会議員団国会对策委員長代行・参議院国会对策委員長に就任」と記載確認

2. 数値情報

年齢

記載内容：「1972年生まれ（52歳）」

検証結果：✕誤り

正しい情報：1972年生まれ（53歳）

根拠・出典：参議院公式サイトで「昭和47年10月10日生まれ」確認。2025年現在53歳

選挙得票数

記載内容：「862,736票、候補18人中1位」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2022年参院選結果で確認（枚方つーしんの記事で確認）

堺市議会議員期数

記載内容：「2011年に堺市議会議員（自民党公認）に初当選し、2015年に再選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイトで「平成23年4月堺市議会議員に初当選し、平成27年4月2期目当選」確認

参議院議員初当選年

記載内容：「2016年7月」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイトで「平成28年大阪府選挙区より参議院議員通常選挙において初当選」確認

文通費関連金額

記載内容：「414万円余り」

検証結果：✓正確

根拠・出典：アジアプレス記事で「414万5149円」と詳細な金額確認

3. SNS関連数値

フォロワー数

記載内容：「2025年には約7,700人に達しています」

検証結果：△要確認

理由：具体的な数値の確認が困難。政治家のSNSフォロワー数は変動が激しく、正確な検証が困難

YouTubeチャンネル登録者数

記載内容：「2025年には約570人」

検証結果：△要確認

理由：具体的な数値の確認が困難

Facebookページ「いいね！」数

記載内容：「1,600件余り」

検証結果：△要確認

理由：Facebook公式ページで「1,582 likes」と表示されており、おおむね正確

Instagramフォロワー数

記載内容：「約2,300人」

検証結果：△要確認

理由：具体的な数値の確認が困難

4. 政治資金問題

二重計上疑惑

記載内容：「2020年7月の調査報道」

検証結果：✓正確

根拠・出典：アジアプレス記事で確認

借入金返済疑惑

記載内容：「2021年3月の報道」

検証結果：✓正確

根拠・出典：アジアプレス記事で確認

文通費迂回寄付疑惑

記載内容：「2022年には文通費の迂回寄付疑惑」

検証結果：✓正確

根拠・出典：アジアプレス記事（2022年6月14日）で確認

5. その他の重要な事実関係

委員会所属

記載内容：「総務委員会や内閣委員会」

検証結果：✓正確

根拠・出典：国会審議映像検索システムで質疑記録確認

ダイバーシティ推進局長就任時期

記載内容：「2022年9月から」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaで「同年9月、日本維新の会ダイバーシティ推進局局长に就任」確認

2022年参院選での順位

記載内容：「トップ当選」

検証結果：✗誤り

正しい情報：Wikipediaによると「7月10日の投開票の結果、669,719票を獲得し、得票数4位で最下位ながら当選した」（2016年選挙）。2022年については「トップで再選」と記載

根拠・出典：Wikipedia記載に矛盾あり、要確認

旧統一教会関連

記載内容：「2022年4月、大阪府内で開かれた同連合の記念式典に来賓として出席」

検証結果：✓正確

根拠・出典：元資料で確認済み

改善提案

修正が必要な箇所

- 年齢の修正：「1972年生まれ（52歳）」→「1972年生まれ（53歳）」
- 2022年参院選の順位について：Wikipedia記載に矛盾があるため、公式選挙結果での再確認が必要

追加確認が推奨される情報

- SNSフォロワー数の数値：変動が激しいため、記載時点を明確にするか、「約」の表現にとどめる
- 国会発言回数：「推計250回前後」「約15万字」などの具体的数値の根拠
- 法案提出数：「延べ25本以上」の具体的根拠
- 2022年参院選の得票順位：公式選挙結果との照合

全体的な評価

記事の大部分の固有名詞、経歴、政治資金問題に関する記載は正確です。主要な問題は年齢の計算ミスと、一部のSNS関連数値の検証困難性です。政治資金問題に関する記載は、アジアプレスの調査報道と一致しており、信頼性が高いと判断されます。